備　前　市　事　務　事　業　評　価　シ　ー　ト

（平成23年度事業）

事業の概要

事業開始年度		昭和１７年～	根拠法令・例規等		
総合計画	大項目	基本目標	01	安全で快適に暮らせるまちづくり	
	中項目	基本施策	04	安全で安心に暮らせるまちづくり	
	小項目	施策	01	交通安全意識の高揚	
事務事業名			03	交通安全施設整備事業	

問合先		
担当課（室）	市民課	
職・氏名	生活安全係長　新庄　敏彦	
電話	0869-64-1876	
このシート作成に要した時間	2.0　時間	

Plan

事業の目的

対象（誰・何に対して）	規制標識、信号機等の設置を要望する地区
目的（何のために）	警察署へ規制標識、信号機等の設置要望のため
事業の意図する成果（どのような状態にしたいのか）	早期に規制標識、信号機等の設置

Do

事業の実績

目的を達成するため実施した事業

細事業名	事業の説明	優先度
警察要望書提出事業	地区から交通安全施設の規制標識、信号機設置等の要望に基づき、事前に警察署に協議し、早期に設置または改善されるよう要望書を提出している。	○

事業費等		単位	平成21年度実績	平成22年度実績	平成23年度実績
決算額 事業費	直接事業費	千円	0	0	0
	必要人員		0.02人	0.01人	0.01人
	人件費		197	111	101
	事業費計		197	111	101
財源	国県支出金	千円			
	受益者負担				
	繰入金				
	市債				
	その他（　）				
	一般財源		197	111	101
受益者負担比率		%	―	―	―

結果指標名		単位	平成21年度実績	平成22年度実績	平成23年度実績
結果指標	要望書提出件数	説明	地区からの要望を協議し、警察署等に要望書を提出		
	結果指標量	件	6	8	8
	対前年比	%	―	133.3%	100.0%
	活動コスト	円	197,000	111,000	102,000
	単位当たりコスト		32,833	13,875	12,750

事業の意図する成果とつながる成果指標を設定

事業の目的、対象、内容を考えながら妥当性を評価

事業費や受益者負担比率、単位当たりコストに留意しながら効率性を評価

事業の目的やその数値目標である成果指標に留意しながら有効性を評価

事業の成果

成果指標名	年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度目標値
設置要望書提出率	目標値（A）	100	100	100	100
	実績値（B）	100	100	100	到達目標値
	達成率（B/A）	100.00%	100.00%	100.00%	年度内で対応

成果指標設定の考え方・式や説明

（地区の要望件数 8件／要望書提出件数 8件）×１００

Check

事務事業の評価

該当する項目を□から■へ　＜ ■ ←「コピー」して「貼り付け」してください＞

妥当性の評価

市の関与の妥当性

- □ 市が実施するよう法令で義務づけられている
- ■ 法令で義務づけられてないが、実施しなければ大半の市民の日常生活に支障をきたす
- □ 現在市が実施しているが、実施しなくても市民の日常生活に支障をきたさない
- □ 事業の内容が一部の受益者に偏っている

必要性

- □ 対象者は限定的であるが社会的弱者等を対象としている
- ■ 現在の市を取り巻く環境からも目的・意図する成果は妥当である
- □ 事業開始当初の目的から変化してきている
- □ 事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている

市民ニーズ

- □ 厳しい財政状況であるが、実施する必要がある
- □ 市民・団体等から要望・要請が強い

妥当性評価（A 高いや　B やや高い　C 普通　D やや低い　E 低い）：**B**

効率性の評価

コスト

- □ 単位当たりコストは前年度と比較して改善している
- □ 実施方法（派遣・委託含）を見直すことでコストを下げる余地がある
- □ 事務の電子化や事務改善によりコストを下げる余地がある
- ■ コスト削減の努力はしているが、下がる余地は小さい

手段

- □ 受益者負担率は適正である
- □ 受益者負担率を見直す余地がある
- ■ サービスを維持するためこれ以外、他に手段が見当たらない
- □ 現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある
- □ 最適な手段を求めて職場内で改善・研修に努めている

効率性評価（A 高いや　B やや高い　C 普通　D やや低い　E 低い）：**A**

有効性の評価

目的達成度

- ■ 成果指標の設定は適切である
- □ 成果指標の到達目標値は達成できそうである
- □ 成果指標達成率は前年度と比較して向上している
- □ 成果指標達成率は80%未満となっている
- □ 現在の事業を継続しても成果指標の向上は期待できない

市民参画度

- ■ 法定事務　・　内部管理事務　であり成果は求めにくい
- □ 事業について積極的にHPや広報等で情報提供している
- □ 事業にはNPO、ボランティア団体等が参画している

有効性評価（A 高いや　B やや高い　C 普通　D やや低い　E 低い）：**A**

進行年度（H24年度）の改革改善内容

状況	拡充	現状継続	見直し	縮小	整理統合	休止	廃止・完了
		○					

説明：地区からの要望を受け、現地確認・関係部署との連絡調整を行い、警察署へ要望している。

総合評価

各地区からの要望については、現地の状況を確認し、必要性を十分協議・検討した上で、提出するよう努める。

総合評価（A 高いや　B やや高い　C 普通　D やや低い　E 低い）：**A**

Action

平成25年度の方向性・取組目標

方向性	拡充	現状継続	見直し	縮小	整理統合	休止	廃止・完了
		○					

取組目標：引き続き、現地の状況を確認し、要望内容を十分協議・検討した上で、提出するよう努める。